

【核医学検査】

核医学検査とは、レントゲン撮影などと同じように放射線を用いる検査です。放射線の一種であるガンマ線を放出する放射性同位元素（RI）を用いた検査で RI 検査とも呼ばれています。

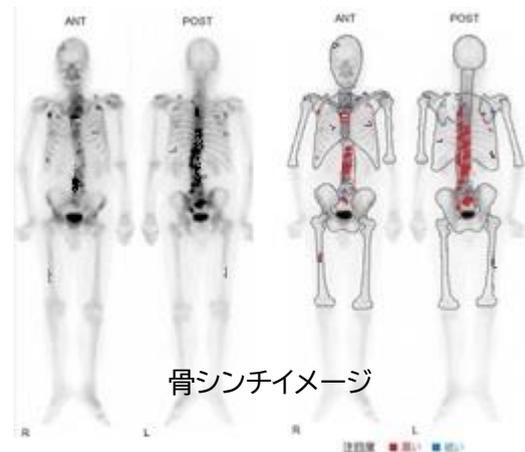
身体の特定の臓器や病気の場所に集まりやすい性質をもった物質に RI でのしをつけた放射性医薬品を注射し、身体の外から専用のカメラでガンマ線を測定することで、病気や臓器の状態の診断を行います。



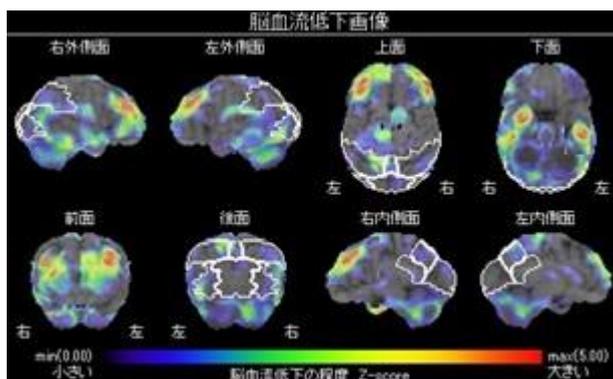
核医学診断装置

骨シンチ

主な検査に、骨の異常を調べる骨シンチと言う検査があります。この検査はレントゲン写真で見つかるよりも早い段階の骨の変化や異常を捉えることができ、全身の骨を一度の検査で調べることができる検査です。



骨シンチイメージ



脳血流シンチイメージ

脳血流シンチ

脳の血液の流れを画像としてとらえる脳血流シンチ、この検査は、CT や MRI より早期に異常を検出でき、早期の認知症や脳梗塞の発見に有用とされています。特に認知症治療薬の登場で認知症の早期診断の必要性が増しています。

この他当院では、心臓の心筋血流障害、心機能を調べる心筋シンチなど約 20 種類の検査を行っています。

核医学検査は検査の種類により、前処置が必要な場合がありますので、検査の際は RI 検査予約票をご確認ください。また、わからない点などありましたらお気軽にご質問ください。